

経済的負担の軽減のための措置等に関する情報

神田外語大学大学院修士課程（日本語学専攻・英語学専攻）及び大学院博士課程（言語科学専攻）には、在学生の経済的負担の軽減のため、以下の制度があります。

◆入学金および授業料の特例

学校法人佐野学園の設置校間で入学する場合の入学金の特例及び神田外語大学大学院の授業料、施設設備費の特例。

（入学金）下記1～3のいずれかに該当する場合は、入学金を全額免除とする。

- 1 外国語学部から大学院修士課程へ入学
- 2 大学院修士課程日本語学専攻から英語学専攻へ入学または英語学専攻から日本語学専攻へ入学
- 3 大学院修士課程から大学院博士後期課程へ入学

（授業料、施設設備費）

- 1 大学院修士課程日本語学専攻に標準修業年限2年を超えて在学する者で、且つ、課程修了に必要な授業科目をすでに修得している者は、年額の2分の1の納付とする。
- 2 大学院博士後期課程の標準修業年限3年を超えて在学する者で、且つ、課程修了に必要な授業科目をすでに修得している者は、年額の2分の1の納付とする。
- 3 前2項の場合、前期をもって在学を修了する者は、年額の4分の1の納付とする。

（参考）本大学院における修学に必要な費用

項目	日本語学専攻・言語科学専攻	英語学専攻
入学検定料	30,000円	30,000円
入学金	250,000円	250,000円
授業料	890,000円	1単位につき65,000円
施設設備費	230,000円	

◆主な奨学金制度

機関	種類	貸与月額
独立行政法人 日本学生支援機構	第一種（無利子）	修士課程：5万円、8.8万円より選択（貸与） 博士課程：8万円、12.2万円より選択（貸与）
	第二種（有利子）	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円より選択（貸与）
一般財団法人 小貫基金奨学金	大学院生	6万円（貸与）
	特別給付生 （留学生含む）	3万円（給付）

独立行政法人日本学生支援機構 <https://www.jasso.go.jp/index.html>

小貫基金 <http://www.onuki-kikin.jp/02-02.html>

その他、過去に募集または採用実績のある奨学金制度

・公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

・一般社団法人尚友倶楽部奨学金

・公益財団法人 平和中島財団 <http://www.hnf.jp/shogaku/>

・留学生受入れ促進プログラム(文部科学省外国人留学生学習奨励費)

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/about.html

◆ティーチングアシスタント制度

(制度の目的)

優秀な大学院生に対し、教育的指導のもとに、本学の学部又は大学院における教育補助業務を行わせることによって、将来の研究者、指導者としての資質を養う。

(職務内容)

当該大学院生に対する研究指導を担当する教員の指示に従い、当該教員が担当する学部又は大学院修士課程の学生に対する講義、実習、演習、試験等の教育補助業務にあたる。

(採用)

本学大学院の博士後期課程に在学している者又は修士課程に在学している者で、学業成績が優秀であり、かつ、教育補助業務を遂行する能力・適性を有する者のうちから、選考される。採用は任期を限って行う。

(時間・給与)

1 週間当たり 5 時間を基準とする。

博士後期課程在籍者 1,200 円/1 時間

修士課程在籍者 1,000 円/1 時間

◆海外日本語教育実習インターンシップ費用の補助(日本語学専攻)

当該プログラムは、独立行政法人国際交流基金「大学連携日本語パートナーズ派遣プログラム」に採択され、費用については基金が定めた条件の航空券、保険料、宿泊費を対象に補助金の範囲内で支給される。

(プログラム概要)

派遣先機関(国): 対外経済貿易大学 外語学院日語系 日本語学部(中国)

派遣期間: 2 週間

募集人数: 2 名(本学教員による面接により選抜)

活動内容: 1) 日本語プログラムの担当教員の指導のもと、授業の見学・観察および実践を行う。

2) 実習活動をジャーナルとして記録する。

3) 帰国後に活動ジャーナルの提出、および、報告書の作成を行う。

費用: 渡航費・宿泊費は一部支給。本人負担 6 万円程度。

※記載事項は全て 2020 年 1 月現在の情報に基づく内容であり、今後、変更となる場合があります。